

No.142 2016 JANUARY

平成28年1月22日発行



愛と復興

平成28・29年度新規事業  
実施計画示される …………… 2

町民と議会の懇談会を開催！ …………… 8

一般会議ってどんな会議？ …………… 23

議会だより

只見

発行：福島県南会津郡只見町議会

編集：只見町議会広報広聴常任委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL. 0241-82-5300 FAX. 0241-82-5222

E-mail: gikai@town.tadami.lg.jp



民具「コモ編台」の実演（11月3日只見町文化祭にて）

# 実施計画示される!

## 新庁舎総額示される!!

平成23年度	基本計画策定	710万円
平成24年度	プロポーザル・基本設計委託	2620万円
平成25年度	基本設計支援委託業務	1350万円
平成26年度	実施設計等支援委託業務	6520万円
平成27年度	本体工事費等	14億2830万円
平成28年度	新エネルギー導入工事	3億4200万円
	周辺外構設計・備品・移転準備等	7370万円
平成29年度	移転工事・解体工事・跡地整備	2億6000万円
総事業費		約22億1600万円
(内 一般財源)		19億900万円

### 新農業振興施策

1 只見産米  
食味向上事業  
約153万円

町内産米の品質と価格向上を図るため、本年度は基礎データの収集等をし、次年度からアドバイザーの指導に基づき米作りを実践する。

2 稲作担い手農家生産  
基盤整備支援事業  
2000万円

高付加価値等に取り組み認定農家等に農業機械・施設整備に係わる経費を支援する。

3 優良農地確保  
支援事業  
150万円

国庫等補助適用外の土層改良等に要する経費を助成することで、優良農地を確保する。

4 畑地有効活用  
支援事業  
280万円

遊休農地対策として、同一作物5a以上の作付農家に対して、一定額を支援する。

5 畦畔等管理  
省力化モデル事業  
120万円

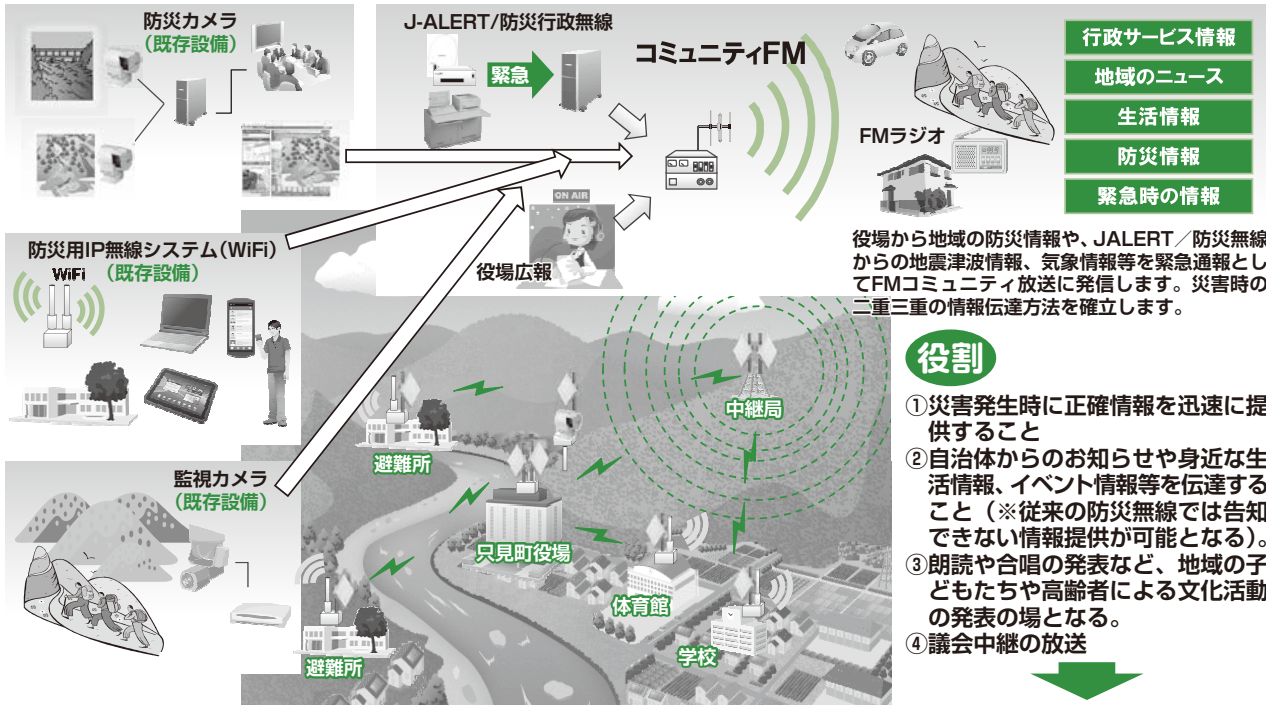
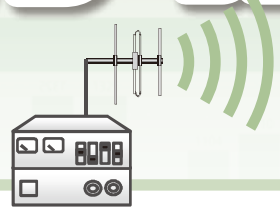
法面等の刈り払い作業等の省力化のため、芝種子等の購入費用を支援する。

6 遊休農地等  
解消支援事業  
50万円

平地等で、町のイメージ悪化につながる判断される農地等の改良のため、一定の条件のもとその解消に要する経費を支援する。

# 平成28・29年度 新規事業

## コミュニティFM開局



地域の活性化とコミュニティ再生につながるメディアとなる

### 新 観光商工振興施策

1 只見町 PR動画作成 250万円

只見町をより広く知っていたため、町のPR（宣伝）動画を作り、既存イベント等での活用やネットサイトへ掲載する。

4 浅草岳沼ノ平 遊歩道整備 約1100万円

歴史的価値のある沼ノ平登山道を安全に整備するための調査・補修・測量委託に係るもの。

2 「ふるさと館田子倉」内装改修 1450万円

ダムによって水没した田子倉集落の歴史を紹介するため、町が取得した施設の内装を改修する。

5 U・Iターン 促進事業 120万円

都市部からの移住を促進させるため、U・Iターン者や後継者へ補助する。

3 地域おこし協力隊による観光振興 約910万円

観光振興を目的に、2名配置を予算化。

6 雇用奨励 交付助成 250万円

町内雇用を促進するため、雇用者増を図った事業者へ補助する。

# 補正予算

## 質疑応答

12月会議は、14日から18日までの5日間の会期で行われました。議案として条例制定及び改正2件、指定管理者の指定1件のほか、一般会計及び各特別会計補正予算11件、追加議案として同意案件1件の総数15件が提出され、審議の結果、全て原案通り可決しました。審議内容を要約してお伝えします。

**問** 只見産材の活用支援補助事業  
せつかくの補助金が使われている



ちょボラ事業実施状況

**答** あった。60数名の参加があった。  
年2回。一回に回数や参加人数は。

**問** 朝日振興センター  
1でのちょボラ  
ゴミ拾いに感謝をする。  
(注:「ちよつとしたボラ」ランティア活動の朝日地区内における愛称)

**ちよボラ**

**答** 職員減による負担増やイベント実施によるものだ。今後イベントの見直し等を検討する。

**問** 超過勤務手当  
この時期の高額な補正予算の理由は何か。

**答** 住宅のみを対象としていたが、今後は車庫等付帯建造物にも適用範囲を広げ啓蒙もしていく。

**問** 今後の対策はどう考えるか。  
現在の住宅建築の主流がプレキャスト工法のため浸透しなかった。

**答** 現在原因は何か。  
現在の住宅建築の主流がプレキャスト工法のため浸透しなかった。

**答** 診療所看護師のシフト調整で、住民に支障がないよう努力している。看護師の活用を図りながら、臨時看護師の募集を行っている。

**問** 看護師減少  
施設入所できる介護度が変わり訪問看護が増える中、看護師が毎年減少している。その影響と今後の対策は。

**答** 現在、担当課長が熱心に動いている。

**問** 朝日地区  
学校通学路  
地元である教育長や振興センター長との交渉にも期待したい。

**答** 現在、担当課長が熱心に動いている。

**提出理由**  
コミュニティFM局開設調査設計業務委託料  
263万5000円  
審議の中で、本予算を取り下げる内容の修正動議が提出されました。

事業そのものを否定するものではないが、議会担当委員会に今議会中の委員会ですべて説明を受けたばかりで、今議会で議決させるのは、きちんと事業の是非について検討議論する時間を与えられていないため、問題だ。  
今後の事業の維持経費を考へても安易に進めるべきではない。



通学路にある危険空き家

# 条例



# マイナンバーでこう変わる!

## ①行政の効率化

(例) 情報の照会等に要する時間・労力が削減される。

## ②公平公正な社会の実現

(例) ・税などの負担を不当に免れること及び手当等の不正受給の防止  
・生活保護等で困っている方へのきめ細やかな支援が可能となる。

## ③国民の利便性の向上

(例) 税と社会保障に関する申請時の添付書類が省略でき、手続きに係る時間・費用の軽減につながる。

**マイナンバーの利用に関する条例**  
法律に基づき、求められる事項について定めています。

① マイナンバーを適切に取り扱うために必要な措置を講ずること。  
② マイナンバーの利用範囲を限定すること。

## 反対討論

**山岸フミ子議員**

住民の理解のないまま進められたマイナンバー制度そのものに反対だ。

## 只見町税条例の一部改正

# 町税の未納・滞納を減らすために!

町税の未納・滞納を極力減らしていくために、徴収の猶予または猶予期間の延長を受けた方が、どうしても期限までに納付・納入できない止むを得ない理由があると認められた場合に、分割納付・納入の各期限または金額を変更し、納付しやすくするものです。

※納付：本来の納付義務者が納める場合  
納入：特別徴収義務者が納める場合と地方税法上使い分けています。



マイナンバーサンプル

## 修正動議

## 賛成討論

**5名…大塚純一郎、新國秀一、酒井右一、山岸フミ子、小沼信孝**  
今後の運営方針がまだ未検討であるなど、担当委員会での審議が深まっていない。  
ランニングコストの検討や運営母体の検討など、今後もう少し担当委員会で審議する必要がある。本当にこの町にとって必要なものなのかを、もっと慎重に考えたい。

## 反対討論

**6名…中野大徳、鈴木征、藤田力、佐藤孝義、目黒仁也、石橋明日香**  
町当局の説明プロセスは議会軽視であり非常に問題だが、災害時の情報提供や町民の活躍の場を広げ、町の活性化につながるこの重要な意義を考えると、この事業は採算だけで考えるべきものではなく、必要な事業だ。  
スピーディーに進めようとしている事業をここで足止めさせるべきではなく、国の「地方創生加速化補助金」を活用するタイミングを考えても、このまま前に進めてもらいたい。

## ■総務厚生常任委員会

# 町民合意の得られる庁舎建設を目指して

役場庁舎建設計画に関する議会の総意として町当局に提出した意見書の尊重が図られるよう、今後也十分な意見交換を重ね、町民合意の得られる庁舎建設ができるようにしたいと考えています。

## シルバー人材センターの

## 設立に向けて

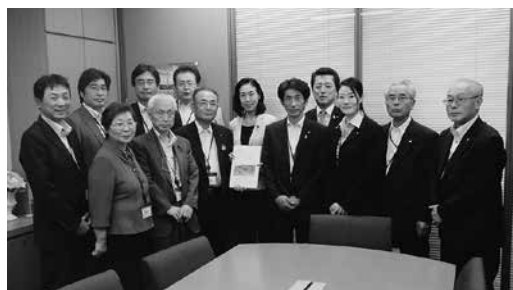
高齢者の社会参加や生きがい活動は大変重要であることから、シルバー人材センターの設立と運営について、継続して調査を深めます。



元気な高齢者が集まる敬老会

## JR只見線早期全線復旧

鉄道軌道整備法の改正、成立が全線復旧に向けての大きな後押しになることから、今後も町当局との連携のもと要望活動を継続します。



金子恵美議員に要望書を提出

## 福島県町村議会議員研修会

**日時** 10月22日 **場所** 郡山市「ビッグパレットふくしま」  
**講師・テーマ** 金井利之氏（東京大学大学院法学政治学研究科教授）  
「人口減少社会の自治体議会」

## 議会活動報告

### 概要

● 地方圏に出産・子育て・老後の世話を依存するが、地方圏が消滅しようと本来はどうでも良いという「東京エゴイズム」の発露が見られる。東京圏の産育児に貢献しない地方圏は消滅させる（＝日本版コンパクトシティ）  
 （全ての町は救えない）のが本音。  
 ● 「生涯活躍のまち」：日本版C C R C（継続ケア付隠居共同体）  
 ● 東京圏をはじめとする地域の高齢者が、自らの希望に応じて地方に移住。地域住民や他世代と交流しながら、健康でアクティブな生活を

# 布沢太田集落の土砂現場など調査

**視察日** 10月28日

**目的** 集落給水施設調査

**内容** 現在太田集落では、本年春、集落対岸の山から発生した土砂崩れが集落の水道施設に影響したため、新たな集落営の給水施設整備を検討しています。しかし、世帯数の減少や高齢化で事業負担に課題も出ています。委員会では、集落住民の声を直接聞くため、町当局担当課とともに調査に入りました。

生活に一日も欠かすことのできない水の問題であり、住民の声を尊重しながら、現在の行政規則の再検討も含めて、今後更に町当局と調査検討を進めていきます。

# 水問題

生活に欠かせない

## 土砂崩れによる 集落水道施設の復旧対応



土砂崩れ発生箇所  
(頂上付近)



新たな水源として検討される  
「猫淵清水」



町担当者の説明に耳を傾ける現地調査参加者



聴講状況 (10月22日 町村議会議員研修会)

● 若手が育たない低い議員報酬…  
議員報酬が低く年金制度も廃止されたため、本業として議員になることは難しい現行の地方議員制度は、若手のなり手を輩出しづらく、どうしても年金受給者・公務員退職者・自営業者・会社経営者ばかりとなりやすく、高齢者ばかりの議会となってしまう傾向は、地方議会にとって決して良くない。

# 会の懇談会を開催!

ました。町民と多くの意見交換を図ることで議会の考えを町民に理解してもらう後も継続して実施していきます。



11月18日 朝日地区地域づくり委員会

①11月18日 参加者10名

## 朝日地区地域づくり委員会

### 役場庁舎建設 進捗状況と今後

◎建設は急がれるが、一度白紙に戻して、改めてコンパクトな建設にしたい。

◎今までに掛かった費用約1億2千万円は、将来の負担がわからないまま進めるのではなく、ちゃんとした設計で建設していけば、決して無駄にはならないと思う。

◎これからの町の人口減少を見据えて、既存の公共施設の有効活用をして欲しい。

◎箱物建設の問題が出されている今、只見町の将来を見据えた慎重な議論をして、町民合意の得られる庁舎建設をして欲しい。

◎現庁舎は耐震構造に問題があり、災害を経験した当町の防災拠点とした新庁舎建設の一刻も早い建設が必要だと思ふ。

### 若者定住。 少子化対策

◎空き家を活用した、若者定住住宅の活用ができないか。

◎町内の男女の「出会いの場」作りを現実的に効果的な展開ができる

ような支援ができないものか。  
◎新しい介護施設もできたが、人材の確保を非正規職員の募集となっているところが、問題なのではないか。もっと魅力のある職場、住宅整備を含めて、安心して暮らせる環境を作りたい。

②11月25日 参加者10名

## 只見町商工会青年部

### 6次化産業

◎推進する具体的な方法が難しい。講習会等意見交換の場が欲しい。

### 地元活用

◎様々な建設事業で地元の活用を図って欲しい。

### 町産業の姿

◎将来が見えないと商売が定まらない。10年、



11月25日 只見町商工会青年部

20年先の産業の姿を示して欲しい。

### 中心市街地 活性化計画の目的

◎八十里開通後の人を滞留させる目的もあるの  
で、それを見据えた推進を。

### 町のネットサイト

◎特産品の開発や今後の販売促進をするため、

### 除雪オペレータ

只見のネットサイトの立ち上げを検討したい。行政に立ち上げの支援を願いたい。

### 役場庁舎建設

◎高齢化により、3〜5年後には除雪オペレータが激減する。オペレータの育成は緊急を要する課題となっている。

### 雪国の安心

◎なかなか進まないようだが、当局と議会が合意のもと推進を願いたい。

◎中心市街地活性化計画は駅前整備の計画だが、駅前だけの整備でいいのか。雪が多くても安心して高齢者が町中で住める整備なども、今後検討する必要があるのではないか。



# 議会一般会議

# 町民と議

今回より、従来の議会報告会ではなく一般会議という町民との懇談会を開催し  
ことができ、また町民の意見を町政に反映させられる良い機会となりました。今

③ 11月26日 参加者9名

## 長浜区

## 農業維持

◎村の共同作業や農業維持が難しくなってきた。今後三地区のライスセンター（農業共同作業施設）の検討等も必要だと考える。

## 福祉団地構想

◎只見町は、今後の町づくりとして一大福祉団地構想を検討しては。

## 小学校統合

◎少子化で小学校統合の検討も行うべきではないか。  
◎子どもがかわいそうだ。大人の視点ではなく、子どもの視点で考えるべきだ。

## お見合い

◎まずは、結婚対策が大切だ。お見合い計画の



11月26日 長浜区

◎推進を図るべき。  
◎昔やっていた仲人報酬金制度を復活させてみては。

## 空き家

◎空き家も目立つようになってきた。空き家活用は、墓などの維持管理から話を始めないと進まない。

◎空いている公共施設の活用方法として、コールセンター（企業の電話応対部署）を誘致して利用してもらうのはどうか。コールセンターは、ほとんどが地方にある。

④ 12月5日 参加者24名

## 明和自治

## 振興会

## 役場庁舎問題

◎色々課題があるようだ。この問題が解決しないと中心市街地活性化計画等他の事業が進まない。議会にも責任がある。力を合わせ一つの方向を出して欲しい。

◎危険ならまず一旦仮移転するのが通常の考えではないか。

## 住民の声

◎議員として、全町27集落の住民の声を聞いているか。

◎各地区代表数名程度と議会との意見交換の場を定期的に開催できないか。

## 地域づくり交付金

◎住民と行政の協働を目的に作った交付金だが、行政目線ではなく、より住民に寄り添った改善を図るべきだ。

## 中心市街地

## 活性化計画

◎失敗している例も数ある。よく検討を。どこまで進んでいるのか。  
◎議会はどうかかわっていくのか。

## 前進する議会

◎地方分権で議会は政策決定の主体者となった。住民の代弁者として議会全体で政策提言をして欲しい。

◎議会の監視機能もわかるが、前に進む議会であって欲しい。  
◎議会として三地区の活動を踏まえ、地域活動

住民参加の条例化などを検討してはどうか。自治振興会としても色々考えたい。

## 地域おこし協力隊

◎地域おこし協力隊を活用したいと考えていた。

◎町当局から、三地区足並みを揃えたいとの回答があった。一つの地域が自ら考えたものを伸ばしてあげなければならぬのではないか。

◎新潟十日町の地域おこし協力隊を視察した。農業支援など町おこし全体にも活用して欲しい。



12月5日 明和自治振興会

### 林業の成長産業化・森林吸収源対策の推進

地球温暖化防止に向けた森林整備と多面的機能発揮のための対策  
 ▶ 間伐等の森林管理や植栽促進等を推進  
 【森林整備等費 1.41 億円】  
 ▶ 荒廃山地の復旧・予防対策、海岸防災林の保全等を推進  
 【治山事業 71 億円】  
 ▶ 地域住民等による森林の保全管理等の取組を支援  
 【森林・山村多面的機能発揮対策 2 億円】  
 ▶ シンクの広域的な排洩・防除等を推進  
 【シカによる森林被害軽減対策事業費 2 億円】

施設集約化の加速化  
 ▶ 森林所有者と境界の明確化等の取組を支援  
 ▶ 航空レーザーの活用等による森林情報収集システムの構築  
 【森林整備地権地権者支援交付金等 3. 億円】  
 【森林情報高度利用技術開発事業 1. 億円】

林業を支える担い手の確保・育成  
 ▶ 人材の雇用・専業により、新規就業者確保・育成等を支援  
 【森林・林業人材育成対策 6 億円】

川上から川下までの連携による効率的な木材の生産・供給システムの構築

川上から川下までの取組の総合的支援  
 ▶ 間伐・路網整備やCLT等を製造する木材加工流通施設、木質バイオマス利用促進、産出促進施設の整備など、地域の実情に応じた川上から川下までの取組を総合的に支援  
 【次世代林業生産づくり交付金の 2 億円】

新たな木材需要の創出  
 ▶ CLT、耐火材等の開発・普及等を支援  
 ▶ 木質バイオマスの利用促進  
 ▶ 建築資材に対する促進  
 【新たな木材需要創出組合アワード 1 億円】

耐火材材を用いた木造建築施設 CLT建築物

路網整備 コンテナ蓄産施設 CLT加工施設

○森林吸収源対策の財源確保については、本年6月の骨太方針(※)に基づき、今年末に向け、引き続き緑付・調整  
 ※「森林吸収源対策及び地方の地球温暖化対策に関する財源の確保」について、財政面での対応、森林整備等に要する費用を国民全体で負担する措置等、新たな仕組みの導入に關し、(中略) COP26に向けた2030年以降の温室効果ガス削減目標の達成までに具体的な効果について総論を語る。

### 森林吸収源対策の推進構想

なお、採択された意見書については国機関に送付いたしました。詳細については、只見町議会ホームページで確認できます。

【理由】 当町においても、今後森林資源を活用した木質バイオマス事業などが計画されており、森林整備予算が必要と判断したため。

**1 只見町農業施策に関する請願書 ↓ 採択**  
 【理由】 町独自の支援を含めた新しい農業振興施策について認める。

**2 森林吸収源対策に係る安定的財源確保と山村振興対策の推進を求める意見書提出の請願 ↓ 採択**

## 陳情請願の結果

## 継続審議中の陳情請願

### 1 役場庁舎建設の構造計画変更を求める陳情書

⇒ 総務厚生常任委員会に付託

### 2 避難所施設整備に係る陳情書

⇒ 総務厚生常任委員会に付託

### 3 認定外給水施設整備に対する支援と受益者負担金の軽減をお願いしたい件

⇒ 経済文教常任委員会に付託



避難所施設整備の現地調査状況 (11月27日)

# 12月会議一般質問

## この町を想い、町政を問う。

### 全議員が登壇



#### ■ 大塚純一郎 ..... 12

- ・目黒町長が取り組んできた政策評価は
- ・10年後の只見町のあるべき姿を示せ

#### ■ 新國 秀一 ..... 13

- ・奨学金の検討結果は
- ・仮設住宅の有効活用を図るべき  
(・産業の六次化事業)  
(・住民訴訟の経過)

#### ■ 小沼 信孝 ..... 14

- ・子育て・少子化対策基金どう使う

#### ■ 藤田 力 ..... 15

- ・只見高校生を毎年一人採用しては
- ・移住お試し住宅を整備したら

#### ■ 鈴木 征 ..... 16

- ・役場庁舎建設の経過を確認したい
- ・今後の人口減少対策は

#### ■ 酒井 右一 ..... 17

- ・豪雨災害裁判の争点は何か

#### ■ 石橋明日香 ..... 18

- ・優秀な人材を育てる独自の教育を

#### ■ 佐藤 孝義 ..... 19

- ・町民福祉バス復活の考えは
- ・地方創生と絡むエコパーク事業は

#### ■ 山岸フミ子 ..... 20

- ・地産地消拡大に「雪むろ」活用を

#### ■ 目黒 仁也 ..... 21

- ・役場内に「集落の声を聞くチーム」を
- ・振興センターの権限強化を

#### ■ 中野 大徳 ..... 22

- ・マイナンバーで何がかわるのか
- ・少子化による教育課題は

※1 議員1 ページの割り当てとなっているため、ページの都合上、質問・答弁はその概要を掲載しております。詳しい内容については、議会ホームページの議会中継から[バックナンバーにて中継動画を掲載](#)しておりますので、ご覧ください。

おお  
つか  
じゅん  
いち  
ろう  
大塚純一郎議員



# 目黒町長が取り組んできた 政策評価は

**答** 町民が評価するものだ

**答** 今年10月に「只見町人口ビジョン」を策定した。総人口も昭和40年以後、一貫して減少しており半減した。世帯人員が減少する一方、老年人口（65歳以上）の割合は増加傾向にあり、41%を超えている。合計特殊出生率も大きく下が

**問** 目黒町長が7年間取り組んできた振興政策の評価を

り、未婚率も高くなっている。転入・転出の推移では転出超過だ。農家人口は20年間で約6割減少。工業の従事者数は減少。製造品出荷額は50%伸びている。商業は、従業員数、販売額とも減少。観光入込客数では、平成12年は32万人、平成23年は15万人まで減ったが、現在は22万人まで回復している。

振興政策の評価は町民が評価するものだ。



通学路上の危険空き家

**問** 様々な振興政策が示される中で、政策実現までは至っていないものが多い。スピード感がない。責任ある対応が必要だ。朝日地区の通学路の整備計画、危険空き家に対する対策は現在どうなっているか。

**答** 町として真剣に取り組んでいる。相手のあることなので、中々思い通りにはいけない現状だ。

**問** 今年度中に立ち上げる計画だった「シルバー人材センター」の状況は。

**答** 南会津町、下郷町との連携による設立運営を検討している。まだ合意には至っていない。

**問** 国道289号「八十里越」の開通を見据えた政策として、入叶津地区から只見駅前へのトンネルの開通整備は考えられないか。

**答** 三條市との地域連携戦略の中で、一体化した事業展開を考え、実現に向けた検討を考えていきたい。

## 10年後の只見町のあるべき姿を示せ

**答** 日本版DMO<sup>(※)</sup>づくりを進める

※注：日本版DMO (Destination Marketing/Management Organization)

2020年に向けた訪日外国人の増加を目標に政府が掲げたもので、地方創生策の一つ。地域の風土・文化に合った組織形態を作りあげることで、地域を活性化させる観光のビジネスモデルの形成を目指す。

# 奨学金の検討結果は

## 答 来年度に給付型を導入

**問** 少子化対策の今後について伺う。

**答** 重要課題の一つであるが、単発の事業実施では効果が見込まれるものではないため総合的に進めている所だ。就学前の児童については、条例を新たに設けて各種施策を効果的に推進するた

めに基本的な事項を定めたところである。さらには、児童の放課後対策の事業を継続して実施したい。今後は条例の目的・理念を踏まえて只見町子ども・子育て支援事業計画に基づいて取り組んでいきたい。

**問** 9月会議で提案した奨学金制度はどうしたのか。

**答** 帰ってくる人材を増やすことが喫緊の課題であり、給付型の奨学金については来年から実施することを計画にあげている。

**問** 只見町は、結婚し子育てしていく上で大変苦しい状況だが。

**答** 妊娠初期から出産までの検診、18歳までの医療費を無料化している。また、子育て支援についても基金をつくり、更なる経済的な支援ができるかどうか継続性、財源を含めて考えていく。

## 仮設住宅の有効活用を図るべき

### 答 県の方針を見極めたい

**問** 仮設住宅がまだに利用されていないが、今後どうされるのか。町の方針はないのか。

**答** 住宅以外の利用を考えている。今年度内に仮設住宅の処分について福島県の方針が示される予定であるため、それを見極めながら有効活用につなげたい。



現状の応急仮設住宅（新町地内：写真手前）

※他に「産業の六次化事業」、「住民訴訟の経過」について質問しました。



新 秀 一 議員

小沼 信孝 議員



# 子育て・少子化 対策基金どう使う

## 【答】 長期的施策を確実に地道に 実行していく

**問** 子育て支援・少子化対策基金の具体的な取り組みは。

**答** 日本全体が直面していることで、特効薬のような解決策はない。多面的、長期的な施策を確実に地道に実行していくことが重要だと考え、経済的支援とソフト支援を行っている。

**問** 子育て支援・少子化対策に關する事業を上げていくが、基金だけで大丈夫か。

**答** 全て基金で賄える事業だと思っていない。引き続き優先的に財源確保を図っていく必要があると思っ

**問** 子育て支援少子化対策基金事業

**答** 子育て支援少子化対策基金事業は、重要な事業だと思っ

**問** 子育て支援少子化対策基金事業

**答** 子育て支援少子化対策基金事業は、重要な事業だと思っ

**問** 子育て支援少子化対策基金事業

**答** 子育て支援少子化対策基金事業は、重要な事業だと思っ

**問** 町長は町の少子化をどの様にとらえているか。

**答** 極めて深刻だし、子どもの数は教育の面においても大きな問題だと思っ

**問** 町長は町の少子化をどの様にとらえているか。

**答** 現在は発信していないので今後発信していきたい。

**問** 町長は町の少子化をどの様にとらえているか。

**答** 現在は発信していないので今後発信していきたい。

**問** 町長は町の少子化をどの様にとらえているか。

**答** 現在は発信していないので今後発信していきたい。



子育て支援は重要な課題

# 只見高校生を 毎年一人採用しては

**答** 確約はできない

**問** 只見高校の卒業生のほとんどが卒業時に町を出る。これでは町の人口は減るばかりだ。そこで、毎年、只見高校の卒業生から一人、役場や関係団体の職員としての採用を提案する。これは、人口減に悩む只見町にとって、町の姿勢だと思う。高校生からも注目され只見高校の振興対策や魅力向上にもつながるものだ。

**答** 只見高校から一人採用したいという思いはあるが、確約できるものではない。

願わくは一年に一人。思いは受け止める。

町内の企業への就職・商店・農業などの後継者も含め、一定の支援策を講じることが提案する。給料月額30%、期間3年間、雇用主に援助することが町内雇用につながるのではないかと。

**問** 雇用促進対策として、U・Iターン者を対象とした雇用促進助成金制度・雇用奨励金交付制度を整備するなど雇用対策を総合的かつ積極的に進めていく。

**答** 昨年町役場退職者が町の関

連団体に採用されている。今後も続けられるのか伺う。募集もしないで採用することが本当に良いことなのか。私はやるべきことではないとハッキリ申し上げる。

**答** 世間でいう天下りということではなく、その事業所で求められる時に情報を提供した結果だ。

**答** 前向きに検討したい

## 移住お試し住宅を整備したら

**答** 前向きに検討したい

**問** 都市からの移住促進のために、移住お試し住宅の整備を提案する。町民アンケートによると64%の町民が受け入れに前向きに回答している。

**答** 来年は、空き家の活用にかかわる企画や運営に携わる人材を「地域おこし協力隊」として募集し、ご提案にある「移住お試し住宅」での取り組みを発信していく。また、移住定住促進のため空き家対策協議会の設置に向けて考えている。

**答** 来年は、空き家の活用にかかわる企画や運営に携わる人材を「地域おこし協力隊」として募集し、ご提案にある「移住お試し住宅」での取り組みを発信していく。また、移住定住促進のため空き家対策協議会の設置に向けて考えている。



藤田 力 議員

### 只見高校卒業生の進路状況調査

年度	卒業者数	うち進学者数	うち就職者数	うち町内就職者数	町内就職先
平成20年	56	22	34	2	役場1、湯ら里1
平成21年	46	12	34	3	役場2、会津工場1
平成22年	52	33	19	3	J A 1、会津工場1、スミタ1
平成23年	45	26	19	2	役場1、美馬建設1
平成24年	42	26	16	3	会津工場2、赤塚歯科医院1
平成25年	43	32	11	1	森林組合1
平成26年	32	24	8	4	東邦銀行1、美馬生コン1、会津工場2
合計	316	175	141	18	
割合(%)	100	55	45	5.7	

藤田力議員作成資料

鈴木 征議員



# 役場庁舎建設の経過を確認したい

**答** 入札不落の原因・対策を検討中



議会全員協議会審議状況（役場庁舎建設関連）

**問**

役場庁舎新築工事については、本年6月に入札執行し不落となったことは町民各位もご承知のとおりである。

現在の役場庁舎は、昭和35年建設来、55年経過し、耐震診断の結果もCランクであったと聞く。

ここで改めて計画から現在までの経過について伺いたい。

**答** 役場庁舎は、昭和35年建設来55

年が経過している。その中で、新潟中越地震や中越沖地震発生後の平成20年に耐震診断を受け、その結果として震度6強以上で倒壊する危険があるCランクと診断された。

その後、平成22年12月には、地域計画審議会から「同一敷地内に庁舎を新築する」という答申をいただいている。また、平成23年3月発生 of 東日本大震災並びに同年7月の新潟・福島豪雨災害により、防災拠点の必要性を強く認識したところである。

平成24年度に庁舎建設基本設計に着手、平成26年6月に業務完了し、同年8月から実施設計業務に着手している。

平成27年6月に入札執行し、不落となったことを受け、価格かい離の原因分析や対策案について検討し、議会全員協議会で4回説明して現在に至っている。

## 今後の人口減少対策は

**答** 総合戦略に基づく事業を確実に行う

**問** 平成27年10月に策定された「只見町総合戦略」には、若者定住対策・子育て支援による人口減少対策が町の最重要課題の一つに掲げられている。

当町の将来を大きく左右する課題に対処す

るに当たったの現状認識と今後の具体的な取り組みは。

**答** 人口減少が町における最重要課題と認識している。「只見町人口ビジョン」では、今後の人口減少が企業活動への重大な

課題と認識している。「只見町人口ビジョン」では、今後の人口減少が企業活動への重大な

課題と認識している。「只見町人口ビジョン」では、今後の人口減少が企業活動への重大な



# 豪雨災害裁判の争点は何か

**答** 裁判の進行に影響を与えるので提示できない

**問** この裁判において、被害を受けた方々(原告)が提出し、裁判長が認めた「被害の証拠」は何か。裁判費用は住民の血税であり原告らも納税者であることを念頭に伺う。

**答** 裁判に影響を与えかねないので、証拠の提示は控えたい。

**問** 只見町は議会(議決機関)と町長(執行機関)の両方で成り立っている。町長だけで町は成立しない。裁判は議会も当事者と言える。審議に

**答** 必要な情報が議会に提示されなければ議案審議できない。

**問** 今、公判中である。被告は町だけでなく他者に影響を与えかねないので理解してほしい。

**答** 今、公判中である。被告は町だけでなく他者に影響を与えかねないので理解してほしい。

**問** 分からないはずはない。町長が証拠を提示できないならば、私が議員権限に基づき調査したその証拠資料を提示する。それは議会が全員一致で議決した「洪水調査特別委員会」の報告書だ。これは住民意思として決したものであり、町長の責任を明記している。

**答** 町長は住民意思と争っていることになるかどうか。

**問** 災害調査特別委員会員の調査報告書も含め正当かどうか、裁判所で判断をしている。

**答** 議会の議決は団体意思としての結果であり、裁判で決めるような行政であってはならない。議会意思(民意)に沿わずに争い続ける町長、自ら

に恥じることはないか。

**答** ない。司法の判断に委ねる。

和解を申し出る考えはないか。

**答** 今、公判中である。この場から和解ということをし上げることはできない。



酒井 右一 議員



福島地方裁判所会津若松支部で現在係争中

いし  
ばし  
あ  
す  
か  
石橋 明日香 議員



# 優秀な人材を育てる 独自の教育を

**答** 国際感覚や情報活用能力を  
鍛える

**問** 町の発展の根幹は人であり、人材育成こそがすべてだ。町の未来を担う優秀な若者を育て、流入・交流人口を増やしていくために、国際化・ＩＴ化に対応でき、町の魅力をＷＥＢや語学を駆使して積極的に発信していける有能な人材を育成していく必要がある。

小中学校でのＩＴ教育や起業教育、只見町という自然環境豊かな

環境ならではの農業・林業教育など、教育の充実に関する見解は。

**答** 昨年、朝日小学校がユネスコスクールに登録され、他の２小学校・中学校も申請手続き中だ。ユネ



朝日小学校「ユネスコスクール」授業風景

スコスクールはＥＳＤ（持続可能な開発のための教育）の推進拠点であり、本町は「豪雪に育まれた自然と生活・文化を守り、活かす」という考え方を取り入れている。

朝日小学校では、今年度から法政大学、毎日新聞社、相馬・双葉両郡内等９つの小中学校と連携した「グローバル人材の育成をめざした福島原発被災地域におけるメディア活用型ＥＳＤ地域学習支援モデルの創造」事業の展開を進めている。

「児童生徒に対し、持続可能な社会の構築を目指して、情報活用能力（メディア情報リテラシー）を身につけ、批判的・自立的に考え他者と協働し、行動に移す力を養う」ことを目的としたものだ。

タブレット端末の貸与を受けて「只見学」の学びを映像にまとめ、広野小学校やカンボジアの学校とビデオレターによる映像交換を行うなどする。

中学校では、本年度

より県との連携による「奥会津学習サポート事業」を実施し、２年生では天栄村のブリテイツシユヒルズで１泊２日の語学研修、インターネットによる学級ごとのライブ授業等で外国語教育の充実を図っている。

こうした事業を通し、

町内小中学生の国際感覚を磨き、情報活用能力の向上を図って有能な人材を育成していきたい。

**問** 有能な人材を町外から引き寄せ  
るためにも、積極的な  
広報戦略や人材採用制  
度が必要では。

**答** 才能を持つ人材を只見町で登用し活躍できるようにするため、積極的な広報戦略及び採用制度について、検討を重ねていきたい。

# 町民福祉バス復活の考えは

## 答 利用団体への助成支援で対応する

**問** 研修活動等に利用できる安価なバスがほしいとの声を町内各団体から聞く。町民誰でも気軽に利用できる福祉バスを復活できないか。

**答** 交通体系の見直しの中で、民間事業者によるバス運行に切り替えを図った。これまで利用していた各種団体等に支障が出ないように、各振興センターで研修活動に要する借上げバスの費用を助成している。助成基準は10名以上。婦人会や青年団体は全額、

その他の団体は半額だ。明確な研修目的で活動される団体には今後も引き続き支援していきたい。

**問** 小さい団体では負担が大きいのでは。

**答** 発足当時は社会福祉協議会で実

施していた。現況は、運輸行政（青ナンパー等）の絡みで難しい。助成基準については、振興センター等で予算化され、議決されれば、検討の余地はある。



佐藤 孝 義議員

# 地方創生と絡む エコパーク事業は

## 答 切れ間なく実施していく

**問** 昨今増加している外国人観光客を只見町に呼び込む方策は。

**答** 中国や韓国、台湾などアジア圏から新潟を経由しての来日に注目している。近い将来の国道289号八十里越の開通後のインバウンド政策につながる。本町の観光資源に磨きをかけ積極的にかつ戦略的に受け入れ

体制の整備を進めていく。

新年度事業では町の総合案内看板を多言語化したサイン案内に再整備して、外国人観光客に対応したい。

さらに「エコツーリズム」のより一層の推進を図るため、地域おこし協力隊による「自然首都・只見観光振興協力隊」を登用し、積極的な外国人観光客の誘客にも取り組む。

**問** 国外の都市（ユネスコエコパーク認定都市等）との友好関係を築けないか。

**答** 今年度は、JICAマレーシア・サバ州の視察研修をはじめ、韓国、台湾の大学教授の方々を招き講演会等を開催した。これらの事業を通して国外の認定都市と友好関係が築ければと考える。



韓国のユネスコエコパークについて学ぶ状況

やまぎし ふ み こ  
山 岸 フ ミ 子 議 員



# 地産地消拡大に 「雪むろ」活用を

**答** 非常に重要  
雪資源の活用検討

**問** 町内各施設「老人施設、診療所、観光施設」等での地産地消の現状について伺う。

**答** 地産地消は、伝統食の継承や流通経費節減による環境への貢献、栄養価の高い旬の物を工夫して食べるなど様々な意味がこめられている。非常に重要な取り組みである。

学校給食センターでは、地元産の食材を率

先して利用し、また各施設においては町内生産者・事業者から購入することを基本としている。可能な限り地産地消の推進を図っている。

**問** ある一定の農家支援だけでなく、高齢者を含めた町民が誰でも地元産物を各施設に納品し、少しでも個人所得の向上を図れたらと思う。



地産地消を取り入れた小学校給食

**問** 町づくりの中に地元消費の拡大、地域経済の活性化を目指すところ、地産地消拡大は具体的事業の一つだ。地産地消を活性化することにより、高齢者の社会的孤立を防ぎ、生きがいづくりになる。

**答** この事業を行うには、地域おこし協力隊などサポートやコーディネートする人材の配置が必要だ。地産地消を進めるにしても野菜・乾燥物など有効利用するには、鮮度を保つため雪を利用した一年中利用できる貯蔵庫が必要だ。多雪地帯である只見で何故できないのか。

**答** 昨年から「簡易雪むろ」を活用し、地産地消に加え雪資源の観光面での活用を検討し始めた。

**問** 地産地消。パワーアップすること、は、教育・福祉・観光にと波及効果がある。各分野との連携をもつて考え、進めることを提案する。雪を利用した貯蔵庫は町民誰もが利用できる施設とし、六次化産業を進めるうえでも必要だ。

**答** 「雪むろ」は豪雪地帯ならではの気候特性を生かした冷熱利用として、農作物の鮮度や熟成効果、付加価値化など、環境にやさしい有効なエネルギーであり、克雪に結び付く政策ととらえている。現在行っている事業も踏まえて検討する。

# 役場内に

## 「集落の声を聞くチーム」を

**答** 人的課題はあるが検討する

**問** 振興センターが  
発足し、本庁総  
合政策課との連携が重  
点に掲げられている。

具体的にどのような協  
力体制をとってきたの  
か。

**答** 空き家の実態調  
査に取り組んで  
きた。28年度目途に  
きた。(仮称) 空き家対策

協議会」の設置を現在  
検討している。今後議  
会説明も踏まえた上で  
支援策も講じたい。

全町的に以前と  
は違う集落課題  
がある。住民の声を本  
庁で取り上げるため、  
役場内に「集落の声を  
聞くチーム」などを検  
討してはどうか。

**問** 今年の集落座談  
会では、住民要  
望が一向に改善されな  
いなどの声もあつた。  
連携が十分とは思つて  
いない。集落の方々と  
話し合いがより重要  
と考えているので意を  
踏まえて努めていく。

人員体制が課題  
なら、「地域お  
こし協力隊」の活用や  
民間委託も検討すべき  
だ。地域課題は待った  
なしの状況にある。

**問** 三地区の「空き  
家対策」を中心  
とした地域おこし協力  
隊を現在募集している。  
是非只見に入っていた  
だきたいと望んでいる。

今年度の集落座談  
会では、住民要  
望が一向に改善されな  
いなどの声もあつた。  
連携が十分とは思つて  
いない。集落の方々と  
話し合いがより重要  
と考えているので意を  
踏まえて努めていく。

今年度の集落座談  
会では、住民要  
望が一向に改善されな  
いなどの声もあつた。  
連携が十分とは思つて  
いない。集落の方々と  
話し合いがより重要  
と考えているので意を  
踏まえて努めていく。

今年度の集落座談  
会では、住民要  
望が一向に改善されな  
いなどの声もあつた。  
連携が十分とは思つて  
いない。集落の方々と  
話し合いがより重要  
と考えているので意を  
踏まえて努めていく。

## 振興センターの 権限強化を

**答** 29年度改定を図りたい

**問** 地域づくりの最  
前線である各振  
興センターの課題とし  
て、予算や権限が十分  
でない。現在地域づく  
りの予算は、各振興セ  
ンターと役場本庁に分  
かれ、年間計約180  
0万円が計上されてい  
る。

これを三振興センタ  
ーに仮に600万円ず  
つ配分し、現場の長の  
権限で執行できる体制

これによっていくことが望  
ましい。これによって  
住民意識も変わる。

集落の活性化が  
あつて町の活性  
化と考えており、交付  
金制度を見直してきた  
経過がある。三か年の  
現場の決裁権は、私  
もそのような方向が望  
ましいと思つているの  
で、内部の事務手続き  
を経て検討する。



小林館趾ふるさとウォーキング

目録  
黒仁也議員



なかのり  
中野大徳 議員



# マイナンバーで 何が変わるのか

**答** 公平公正な社会の実現が目的

**答** 正式には「社会保障・税番号制度」という。住民票を持っていての一人一人の番号を付け、「社会保障」「税」「災害対策」の分野で各機関が個人情報进行管理し、公平公正な社会を実現することが目的だ。

**問** 先般、マイナンバーが送付された。町民には分かりにくく、制度導入には不安の声も多かったと聞く。制度導入でどのように変わるのか。



行政手続きを受ける役場窓口

**問** 住民生活においてどう変わるのか。

**答** 税の分野では、サラリーマンであれば年末調整のとき、自営業者であれば確定申告のときに使用することになる。2016

年分の所得から制度の対象となる。各種届出申請のときに住民票や所得証明などの添付書類が省略できることから、手続きに係る時間・費用が削減できるようになる。

## 少子化による

## 教育課題は

**答** 小学校のあり方を検討

**問** 来年度の小学生入学者は、只見11人、朝日4人、明和10人だ。少人数学級に不安を持っている声を聞くが、どう考えるか。

**答** メリットとして、「個に応じたきめ細やかで丁寧な指導、生徒、教職員、保護者の結びつきが深くなり、全教職員が全生徒の特性、家庭環境などを把握しやすく、指導が行き届く」等があげられる。

一方、デメリットは「子ども同士での集団的思考が形成されにくい。メンバーが固定化されることで学習意欲向上や競争心が育たないなどの問題が生じやすい」等がある。

**問** 今後の考えは。

**答** 少子化により児童が減少するところが想定される。只見高校の孫留学も含め、小学校のあり方について検討する。



ブナりん

# 教えて！議会のこと

Vol.6



アカシヨウちゃん



イワッペ

只見町キャラクター ©Tadami

## 一般会議って どんな会議？

今回は、議会が行う一般会議について、担当の広報広聴委員長に聞いてみました。



**ブナりん** この前「一般会議を開催します」という募集があったけど、どんな会議なの？

**広報広聴委員長** 議会の中には町民に対して「議会報告会」と「一般会議」と二つの会議があるんだよ。

**ブナりん** 2つの会議はどう違うの？

**広報広聴委員長** 「議会報告会」は、町政や議会で行われていることなどを、みんなに説明し、意見を聞いて議会運営に役立てる会議だよ。

「一般会議」は、町民、各種団体、NPO等からテーマを出してもらったうえで意見を聞いて、そこから出てきた町政上の課題や問題点を町民と議会が積極的に話し合う会議なんだよ。

**ブナりん** じゃあ、一般会議で出た町民からの意見は町政に役立てられるの？

**広報広聴委員長** なかなか全てという訳にはいかないけれど、町政上の課題に対応す

るための政策提案の拡大に努めていきたいと思っているよ。多くの人達に会議に参加してもらい、多くの意見を聞かせてもらいたいと思ってるんだ。



**イワッペ** どうやったら会議を開いてもらえるの？

**広報広聴委員長** 団体、グループなどから希望がある場合、通年でいつでも可能な限り対応するので、気軽に議会事務局（82-5300）まで連絡してね。



**アカシヨウちゃん** 申し込みはいつでも良いの？

**広報広聴委員長** いつでも大丈夫だよ、本当は町民の人達に議会のほうに来てもらって会議を開催することになっているんだけど、出前会議という形で議会が出向いて開催するからね。議員全員参加にはならないかもしれないけど、応募を待っているからね。



郷土料理を通して考える



朝日小学校 5年  
わたなべ れお  
渡部 怜央

ぼくは、只見の郷土料理が大好きです。只見の郷土料理には、先人からの思いや知恵がたくさん詰まっています。料理の中には「ざく煮」というものがあります。冬に水が入手しにくかった只見の人たちは、水を一気にくみ、その水で2~3日分のざく煮を作り料理の手間をはぶくなどの工夫がされています。今ぼくたちは新只見の郷土料理を考えています。みんなで知恵を集めて、おいしい料理を作れるようにがんばっています。

郷土料理を通して考える



朝日小学校 5年  
わたなべ まこ  
渡部 菜子

只見の郷土料理はすばらしい。朝日小では只見の郷土料理について調べています。「しわいも」は甘くておかずになるし、おやつにもなる食べ物です。それと小さいものをむだにしないという昔の人の知恵が詰まっているものです。また、水あめを作ると「あめよばれ」をします。あめよばれをすると人との交流にもつながります。これからは、私たちが新しい郷土料理を作っていきたいと思っています。

福島県選挙管理委員会は、県内の高校と協力して、平成24年度より「未来の福島県知事選挙」を実施しています。これは、県内の高校生に対して模擬投票の機会を設けることにより、政治や選挙に対する関心の向上を図るものです。実施にあたっては、福島大学の学生4人が候補者となる政見放送を視聴し、実際の選挙と同じ方法で投票します。今年度は、6月に選挙権年齢が18歳に引き下げられることが決定したこともあり、県内の13の高校で実施されることになりましたが、去る12月9日に県内の嚆矢を切って只見高校の3年生を対象として行われました。以下は、その選挙に「有権者」として参加した2名の生徒の感想です。

模擬投票「未来の福島県知事選挙」に参加して



只見高等学校 3年  
しまたに たくみ  
島谷 拓実

今回、模擬投票ということで、実際と同じ環境・条件で投票させていただき、とても良い体験ができたと思います。普段は、選挙などにはあまり関心がなく、福島に対する自分の意見を本気で考えることは、あまりありませんでした。そのため、今回の事前学習を通しての模擬投票は、改めて福島の問題点と、それらに対する自分の考えを見つめ直すことができ、とても有意義な時間になりました。これからは、選挙権が18歳に引き下げられ、私たちのような若い人たちの意見が求められています。今後は、自分の一票が、地域の全住民、日本の国民、そして未来の人々に影響するという自覚をもって、選挙権を行使したいと考えています。



只見高等学校 3年  
にっくに ゆう  
新國 優

今までは、選挙は大人がするものだという他人事感覚でしたが、これからは選挙権の年齢が20歳以上から、現在の私と同じ18歳へと引き下げられます。今回の模擬投票を通して、選挙についてよく知ることができ、その大切さを改めて認識することができました。また、選挙は、単に知事や代表者を選ぶだけでなく、自分の生活に大きく関わってくることも理解できました。今後は、政治についてしっかりと関心を持ち、政党や候補者の掲げている政策などを適切に判断したうえで投票できるよう、有権者としての責任を持って、しっかりと選挙に向き合いたいと思います。

発行責任者  
議長 齋藤 邦夫  
副委員長 石橋明日香  
委員 小沼 信孝  
委員 山岸フミ子  
委員 大塚純一郎  
委員 中野 大徳  
委員 目黒 仁也

ユネスコ・エコパークに登録され一年半が過ぎようとしています。昔から雪深い里で営まれて来た生活習慣や、自然とのふれあいなどを様々な形でこの町の良さを発信し、継承していくことが大切であると思います。また、水害で破壊された河川も改修され、念願の老人福祉施設「あさくさホーム」も完成し、待機されていた方や家族も大変ホッとされているものと思います。皆さんが安心して暮らせる町づくりのために取り組んでまいります。寒い折気を付けてお過ごし下さい。(山岸フミ子委員)

編集後記